

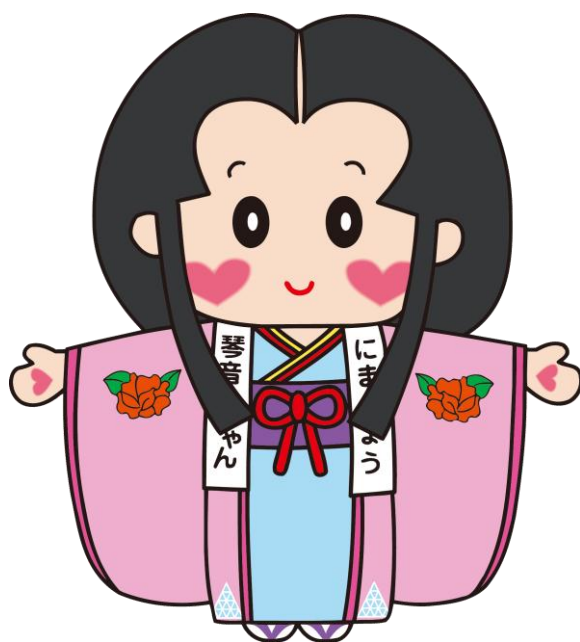
第4期（平成27～29年度）

# 仁摩ブロックまちづくり計画

自然と伝統文化を守り

ひとつものが輝く豊かな

まちづくりを目指して



仁摩地域活性化シンボルキャラクターにまちよう琴音ちゃん

仁摩ブロックまちづくり委員会

平成27年3月

## 目 次

第1章. 第4期計画の策定にあたって	…	1～1
第2章. 仁摩ブロックの現状		
1. 仁摩ブロックの概要		
(1) 位置・面積	…	1～1
(2) 気候・自然	…	1～2
2. 人口・世帯	…	2～3
3. 地域資源		
(1) 産業	…	3～5
(2) 道路・交通・通信	…	5～6
(3) 福祉・医療	…	6～6
(4) 教育	…	7～7
(5) 歴史・文化	…	8～8
第3章. 地域でのこれまでの取り組みと地域課題		
1. 地域でのこれまでの取り組み	…	8～9
2. 地域課題	…	9～10
第4章. まちづくりの基本方針と具体的推進策		
1. 基本方針	…	10～10
2. 具体的推進策	…	10～11
第5章. 第4期事業計画	…	12～12

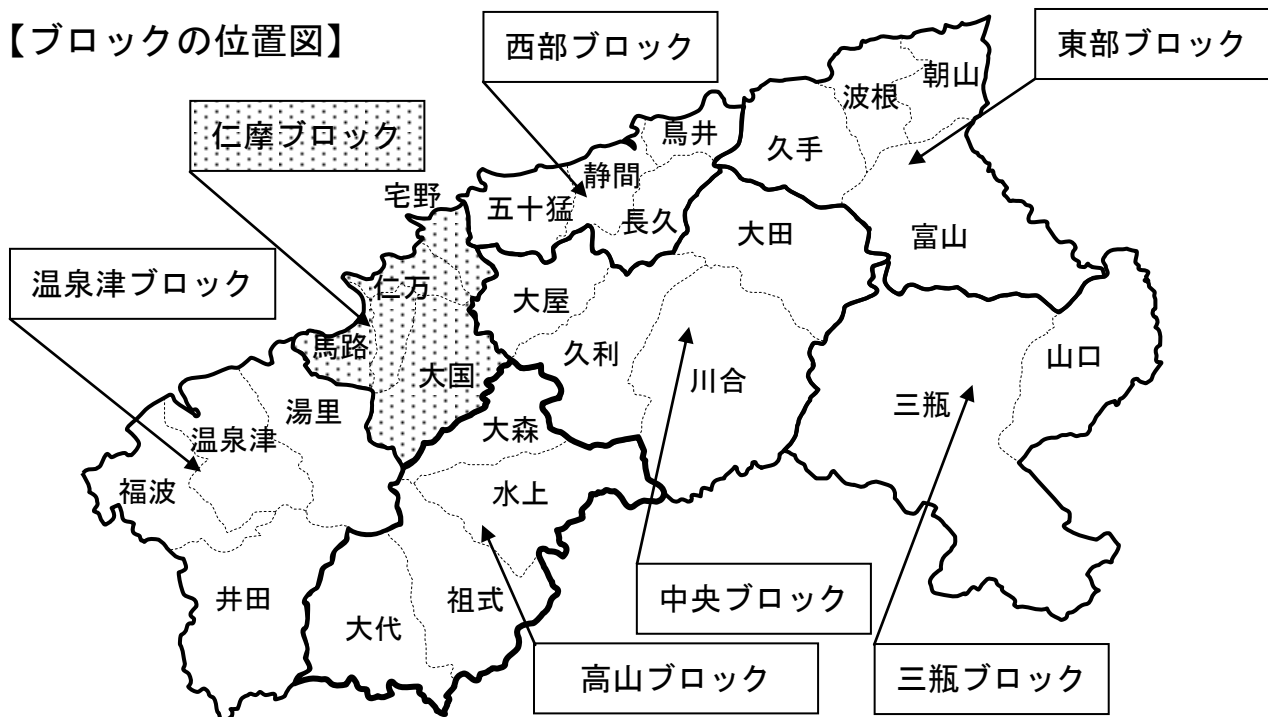
## 第1章. 第4期計画の策定にあたって

仁摩ブロックまちづくり委員会では、みんなで「自分のまち」を見直し、「自分のまち」の良さを発見し、住んで良かった、これからも住み続けたいと思えるまちづくりを進めるために、「まちづくり計画」を平成19年9月に策定し、取り組んできました。

この計画は、これまで3期9年間の活動を踏まえ、第4期のまちづくり計画（平成27～29年度）の基本的方向を示すもので、必要があれば適宜見直しを行っていきます。

## 第2章. 仁摩ブロックの現状

### 【ブロックの位置図】



### 1 仁摩ブロックの概要

#### (1) 位置・面積

仁摩ブロックは、大田市の中央部にあつて、西部・中央・高山・温泉津ブロックに囲まれた仁万、天河内、宅野、大國、馬路の5地区からなる地域です。

ブロックの面積は、31.59k㎡で72%は山林、原野で占められ、海岸線は、風光明媚で自然景観に富み、5カ所の漁港、港湾を有しています。また、世界遺産石見銀山遺跡の一部である銀鉱山の積出港であった靱ヶ浦港や靱ヶ浦銀山街道もあります。

#### (2) 気候・自然

気候条件は日本海型気候であり、全般に温暖ですが、降雨日数は140～150日と比較的多く、また、冬期には積雪量は少なく、乾燥した日が多く、山陰特有の北西の強風

と波浪がはげしい状況です。

鳴り砂で名高い「琴ヶ浜」、史実に富む「韓島」など日本海に臨む約 13 kmの海岸線は自然景観に富み、格好の海水浴場としてにぎわっています。

大国の石見八幡宮の後方にそびえる奇岩、龍巖山の絶壁をまっすぐはい上る巨大な「のうぜんかずら」は、7、8月頃には岩肌に黄赤色の美しい花を一面につけ、秋には紅葉します。

## 2 人口・世帯

仁摩ブロックの人口は減少が進んでおり、平成 22 年国調人口は 4,340 人で、大田市全体（人口 37,996 人）の 11.4%を占めています。また、高齢化率が 38.5%、年少人口比率が 10.7%に達するなど、少子高齢化が急速に進行しています。集落によっては、高齢化率が 50%を超えており、集落活動の維持すら困難な状況も出てきています。

また、アンケート結果からは、自治会、班などの組織の再編を感じているが 3 割を超え、特に宅野、大国では 4 割と高くなっています。

平成 22 年の国勢調査では、平成 17 年と比べ、人口では 346 人、世帯数では 100 戸減少しています。人口の構成をみると、出生率の低下や高校・大学新卒者の流出に伴う若年層の減少が続き、それと反比例して高齢者人口比率は年々増加しています。今後高齢者人口比率はますます高まることが予想されます。

### 【地区別人口・世帯数】

各年10月1日現在（単位：人、世帯）

地 区 別	平成17年				平成22年				増減 H22/H17	
	人 口			世 帯 数 x	人 口			世 帯 数 y	人口 b/a	世帯数 y/x
	総数 a	男	女		総数 b	男	女			
仁 摩 町 仁万	2,326	1,060	1,266	834	2,209	1,006	1,203	820	95.0%	98.3%
〃 天河内	463	216	247	174	454	219	235	171	98.1%	98.3%
〃 宅野	661	308	353	252	620	294	326	238	93.8%	94.4%
〃 大国	530	234	296	222	444	204	240	188	83.8%	84.7%
〃 馬路	706	314	392	327	613	278	335	292	86.8%	89.3%
ブロック 小計	4,686	2,132	2,554	1,809	4,340	2,001	2,339	1,709	92.6%	94.5%
旧大田市 小計	32,337	15,079	17,258	11,463	30,364	14,245	16,119	11,196	93.9%	97.7%
大田市 合計	40,703	18,897	21,806	14,804	37,996	17,761	20,235	14,312	93.3%	96.7%

資料：国勢調査

また、将来推計人口では、平成 27 年では 3,938 人、平成 32 年では 3,513 人と予測され、今後 10 年間で約 19%の人口が減少することになります。

### 〈ブロック将来推計人口〉

平成 12 年 国調人口		平成 17 年 国調人口		平成 22 年 国調人口		平成 27 年推計		平成 32 年推計	
						人口	対 H22	人口	対 H22
男	2,247	男	2,130	男	2,001	男	1,858	男	1,718
女	2,664	女	2,556	女	2,339	女	2,080	女	1,795
計	4,911	計	4,686	計	4,340	計	3,938	計	3,513
							△9.3%		△19.1%

(※将来推計人口は、平成 17 国勢調査と平成 22 年国勢調査より、「コーホート変化率法」と「婦人子ども比率」を使用し推計)

## 3 地域資源

### (1) 産業

仁摩ブロックは、農業と漁業を中心とする第 1 次産業が主産業でしたが、就業人口比率は 10.0% (平成 22 年国勢調査) まで落ち込みました。

第 2 次産業としては、水産加工、縫製等が主たるものであり、第 3 次産業については、町内消費を主とする商品販売の小規模商店とサービス業です。

産業別就業構造は、第 1 次産業が昭和 35 年 48.3%から平成 22 年 10.0%と約 5 分の 1 に減少しているのに対し、第 3 次産業への就業割合は増加しており、今後も既存の企業や市内等への誘致企業への就職により 3 次産業人口比率は増加すると思われます。

### 産業(3部門)別就業者・割合、従業上の地位(2区分)別割合

#### 平成22年

地 域	産業3部門別 就業者			従業上の地位別割合	
	第1次	第2次	第3次	雇用者	自営業主・ 家族従業者
大田市	1,985	4,765	11,130	80.4	19.6
[仁摩町]	192	595	1,129	79.1	20.9
(馬路村)	17	60	126	80.9	19.1
(大国村)	58	117	234	77.0	23.0
(仁万町)	82	352	624	80.0	20.0
(宅野村)	35	66	145	77.3	22.7

#### 平成17年

大田市	2,468	5,309	11,804	76.9	23.1
[仁摩町]	230	675	1,191	76.6	23.3
(馬路村)	27	78	129	72.6	26.9
(大国村)	60	157	247	77.2	22.8
(仁万町)	105	359	657	77.9	22.1
(宅野村)	38	81	158	74.0	26.0

資料: 国勢調査

## ①農業

仁摩ブロックにおいて、農業は基幹産業の柱の一つですが、農家数及び農家人口は減少傾向にあります。経営規模は極めて零細であり、急速な経済の発展、産業構造の多様化に伴い、他産業との所得格差が増大し、労働力の他産業への流出が顕著です。このため、農業以外の収入に依存する農家が増加し経営規模が縮小され、特に山間部では農地の耕作放棄が進んでいます。

荒廃地の拡大は鳥獣被害の増大に結びつき、農作物の被害とともに、さらに農家の意欲喪失など大きな問題となっています。

そんな中、農業従事者の高齢化などによる遊休地の増加を防止するため、集落全体の営農計画作成や話し合いによる農地の受委託農作業の分業等、中核的農家を中心とした集落営農への取り組みも、徐々に行なわれています。

### ◆ 旧町村別農家数・農家人口・経営耕地面積・経営耕地面積規模別農家数（販売農家）

平成22年2月1日現在

旧町村名	農家数（戸）				農家人口（人）			経営耕地面積（a）			
	総数	専業	兼業		総数	男	女	総数	田	畑	樹園地
			第1種	第2種							
仁万	14	3	-	11	54	25	29	1,877	1,740	121	16
宅野	19	7	2	10	61	32	29	1,344	1,202	77	65
大國	40	17	-	23	126	67	59	2,881	2,410	263	208
馬路	3	1	-	2	13	7	6	262	173	8	81
小計	76	28	2	46	254	131	123	6,364	5,525	469	370
大田市合計	1,436	428	110	898	5,094	2,567	2,527	140,285	113,379	21,594	5,312

注：販売農家＝経営耕地面積が30アール以上又は、農産物販売金額が50万円以上の農家。

資料：2010世界農林業センサス

## ②水産業

仁摩ブロックの漁業は、近海は好漁場に恵まれ、漁船による漁業を中心に小型底引、小型定置網、アゴ網、ブリ、タイ、イカ等の一本釣りと、ワカメ、サザエ、アワビを主とした磯漁業とにより営まれています。後継者不足による高齢化が進んでおり、就業のバランスが保たれない状況にあります。

また、平成25年9月には久手・和江・五十猛・仁万それぞれの市場が大田水産物地方卸売市場に統合になり仁摩でのセリがなくなりました。

## ③商業

仁摩ブロックの商業を取りまく環境は、道路網の整備、モータリゼーションの普及による近隣都市との時間距離の短縮並びに購買行動の広域化等、大きく変化しています。消費者の嗜好の多様化により、特に電気製品や家財などについては近隣都市（出雲市・江津市など）への流出が多くなっています。

また、長久等にも大型店舗の開店が相次ぎ、町内の商店は衰退化が生じています。

#### ④観光

仁摩ブロックが有する観光資源としては、豊かな自然を背景とした、鳴り砂琴ヶ浜、磯釣り、世界最大の一年計砂時計を有する「仁摩サンドミュージアム」とガラス工芸体験が楽しめる「ふれあい交流館」があります。

観光入り込み客は、仁摩サンドミュージアム建設以前は4万人でしたが、平成3年には36万人と大幅に増加しました。しかし、国内から国外への旅行需用の移行、バブル景気の後退などによる旅行人口、観光通過人口の減少などから年々減少しています。

そんな中、平成19年7月に石見銀山遺跡が世界遺産に登録され、あわせてサテライト施設「鞆館」が設置されました。さらに、平成25年7月には大田市観光協会仁摩支部が設立され、今後、連携を深め観光客を呼び込む工夫が必要となっています。

##### 〈サンドミュージアム入込状況〉

平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
124,919	99,560	78,328	64,029	60,490

資料：大田市観光振興課

## (2) 道路・交通・通信

### ①道路の整備状況

仁摩ブロックには国道9号と主要地方道仁摩邑南線のほか、県道3路線（仁万港線、仁万停車場線、大国馬路停車場線）その他、市道が連結しています。

また、山陰自動車道は仁摩温泉津間が事業着手されており、平成27年3月に仁摩・石見銀山IC－湯里IC間が開通となり、早期全線完成が望まれるとともに経済文化交流と産業の活性化が期待されます。また、山陰自動車道の開通に伴う道の駅について、平成26年度より仁摩地域内への建設検討が始まっています。

### ②交通機関の状況

公共交通機関はJR山陰本線と、石見交通バスの大田江津線（国道9号）、仁万線（主要地方道仁摩邑南線）があります。一般住民、特に交通弱者である高齢者にとって公共交通機関は必要不可欠なものであり、今後の利用促進について協議の必要があると思われます。

### ③通信の状況

昭和38年以降住民相互のコミュニケーション機能を備えた情報伝達システムとして有線放送電話が整備され、97%の加入率により情報伝達の重要な役割を果たしてきました。また、平成12年度には、行政と住民の双方からの情報の迅速な伝達を可能にするために、この地域情報通信システムの回線を利用したインターネット事業が開始されましたが平成25年3月にはシステムの老朽化により有線電話・インターネットが廃

止、平成 26 年 3 月には有線放送も廃止となりました。

災害時に備える新防災行政無線に加え今後は、市のホームページやぎんざんテレビによる情報提供がますます重要になってきます。

### (3) 福祉・医療

#### ①児童福祉施設の状況

近年、都市化、核家族化の進展、女性の就労の増加等により、児童を取りまく環境が大きく変化しています。さらに出生率の低下、遊び場の不足など、地域での児童の健全育成に支障をきたす恐れがあります。このような中で、平成 17 年度から仁万、大国、馬路の公立 3 保育所を統合した保育所で、多様な保育サービスの提供が行われています。また、保護者が仕事などにより家庭にいない昼間、適切な生活の場を提供し児童の健全な育成を図るため、平成 14 年度から放課後児童クラブ「ひまわり」が開設されています。

#### ②高齢者福祉施設の状況

仁摩ブロックの高齢者の人口及び高齢者比率は、平成 26 年 4 月 1 日現在 1,711 人、39.8%、独居老人世帯 423 戸となっており、今後も増加が見込まれます。町内には特別養護老人施設やグループホームなどあり各種サービスが提供され、高齢者が地域で安心して生活ができる環境整備と、高齢者の在宅介護、独居老人等高齢者世帯への生活支援など一層の福祉サービスの充実が図られてきました。

#### 〈福祉関係の統計数値〉

平成26年4月1日現在

区 分	仁万	宅野	大国	馬路	ブロック計	大田市計
世帯数	1,119	255	205	303	1882	16,096
人口	2,695	599	410	593	4,297	37,568
65歳以上人口	901	293	208	309	1711	13,449
高齢化比率	33.4%	48.9%	50.7%	52.1%	39.82%	35.8%
独居老人数(世帯数)	195	67	63	98	423	3,166
独居老人比率(世帯数)	17.4%	26.3%	30.7%	32.3%	22.48%	19.7%
独居老人比率(対人口)	7.2%	11.2%	15.4%	16.5%	9.84%	8.4%
独居老人比率(対65歳)	21.6%	22.9%	30.3%	31.7%	24.72%	23.5%
6歳未満人口	121	14	4	12	151	1,573
幼年者比率	4.5%	2.3%	1.0%	2.0%	3.5%	4.2%

出典:大田市市民課/社会福祉課

#### ③医療の状況

仁摩ブロックでは、医師数の減少に伴い平成 10 年に町営の診療所が開設され、現在、診療所 1 ヲ所、医院 1 ヲ所及び歯科診療所 1 ヲ所が設置され、住民の医療が担われていますが、住民の高齢化に伴い、通院のための交通手段の充実が課題となっています。

また、入院手術のできる施設がなく、救急患者がでた場合は、西部消防署の救急車で市立病院や江津・出雲市内の病院に搬送されています。



#### (4) 教育

仁摩ブロック内には、仁摩小学校があり、スクールバス 2 台により、遠距離通学児童に通学条件の緩和が図られてきました。

平成 26 年 4 月には、温泉津中学校と仁摩中学校の統合により大田西中学校となり、統合校舎は仁摩中学校の校舎となりました。

また、平成 21 年 4 月からはブロックに公民館 1 館と各町単位にまちづくりセンターが設置され、市民と行政が協働による新たなまちづくりを展開しています。

##### ◆まちづくりセンターの概況

施設名 所在地（大田市）	構造 建築年	面積 収容人数	備考
仁万まちづくりセンター 仁摩町仁万537-1	鉄筋2階建 昭和47年	1,152.0㎡	
宅野まちづくりセンター 仁摩町宅野79-3	鉄骨2階建 昭和55年	500.0㎡	H23耐震補強
大国まちづくりセンター 仁摩町大国1269	鉄骨2階建 昭和56年	366.0㎡	H25耐震補強
馬路まちづくりセンター 仁摩町馬路1737-6	鉄骨2階建 昭和57年	420.0㎡	

資料: 大田市地域振興課

##### ◆小中学校の児童・生徒数及び学級数、幼稚園児数の一覧

###### ①小学校

毎年5月1日現在

小学校名	上段:学級数、下段:児童数			
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
仁摩小	10 202	11 204	11 199	13 194
小学校計	124 1,787	122 1,794	116 1,770	120 1,733

資料: 大田市教育委員会総務課

###### ②中学校

毎年5月1日現在

中学校名	上段:学級数、下段:生徒数			
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
大田西中 ※2	<del>10</del> <del>154</del>	<del>11</del> <del>154</del>	<del>11</del> <del>154</del>	9 154
仁摩中 ※2	5 108	6 103	6 102	<del>13</del> <del>154</del>
中学校計	48 937	48 922	46 918	45 895

資料: 大田市教育委員会総務課

##### ◆保育所園児数

平成26年4月1日現在

町別	施設名	区分	定数	在園児数
仁万	仁摩保育所	大田市立	120	118
宅野	みどり保育所	私立	20	13

資料: 大田市子育て支援課

## (5) 歴史・文化

仁摩ブロックには、県指定文化財 3 件、市指定文化財 10 件と有形無形の文化的遺産があり、歴史的価値の高い資料や技術、山陰自動車道の建設に伴い、新たに調査・発掘された庵寺古墳群・古屋敷遺跡にみられるような貴重な史跡、そして天然記念物もたくさんあります。また、仁摩ブロックは石見銀山の隆盛とともに栄え、文化的遺産民具等も多く残っていますが、生活の近代化とともにこれらの遺産は忘れられ、あるいは失われようとしている面も見受けられます。

伝統芸能としては、古くから伝わる宅野子ども神楽、琴ヶ浜盆踊り、大国どう行列等があり、過疎化が進む中で後世へ伝承していくため、地域住民が保存に努力しています。さらに近年、囲碁界の先駆者であり「碁聖」と称えられている第四世本因坊道策名人の顕彰と囲碁の振興が進められています。

### 【伝統行事・伝統芸能、史跡、文化財等】

町名	伝統行事・伝統芸能	史跡・名勝	文化財等
仁 万		明神古墳 砦化木 坂灘古墳	○ 紙本墨書石見銀山御料郷宿田儀屋文書 ○ 満行寺文書
宅 野	子ども神楽	井戸平左衛門顕彰碑	○ 元禄版「歎異抄」 ○ 宅野八幡宮の絵馬
大 国	どう行列	永久鉦山跡 石見城跡 矢筈城跡 龍岩のうぜんかずら 庵寺古墳群 古屋敷遺跡	○ 大国内和田村名寄帳
馬 路	琴ヶ浜盆踊り 大足半の巡行	鞆ヶ浦	○ 乙見神社の龍蛇
全 体	ごいせ祭 時の祭典		

## 第3章 地域でのこれまでの取り組みと地域課題

### 1. 地域でのこれまでの取り組み

仁摩ブロックでは、平成 19 年度に策定した「まちづくり計画」に基づき、「自然と伝統文化を守り ひとつものが輝く豊かなまちづくり」を目指して活動してきました。

#### (1) 自然環境の保全

地域の豊かな自然環境の保全と美化活動の取り組みとして、荒れた田畑に花を栽培し、1軒1鉢運動やガーデニング教室を開催し花のある町を目指してきました。

また、各団体が実施している清掃活動の継続と町内美化活動を推進しました。平成24年からは、ブロック共通の課題として、1年に1ヶ所ブロック全町民に呼びかけ清掃活動を行ってきました。

## (2) 伝統文化の継承

文化遺産や伝統文化活動を次代に継承するまちづくりを行うため、ふるさと絵本づくり事業として地元の伝説を絵本にした「銀山（かなやま）物語」を作成し、保育所や小学校に配布し、読み聞かせをしました。

また、邇摩高校と連携し、高校生の目線から仁摩町の魅力を掘り起こした観光マップを作成しました。また、各地区の歴史文化を紹介したガイドブックの作成をし、それを活用したまちあるき探検も実施しました。

## (3) 人づくり

まちづくりの意識啓発とリーダー育成の取り組みとして、国際交流事業を継続的に実施し、主に町内在住の外国人とお互いの文化・生活等の違いを理解し、協調・協力を養い住みやすい仁摩町づくりを目指しています。

## (4) ものづくり

地元特産品の開発・販売に地域と共に取り組むこととして、邇摩高校と連携して特産品づくりをめざし、平成26年度は「ニギス」を使って試作品づくりをしました。引き続き取組み、商品化を目指します。

また、地域活性化シンボルキャラクターを市民から募集し、「にまちょう琴音ちゃん」が誕生したので、デザインや着ぐるみを活用し仁摩町のPRや活性化に利用していきます。

## (5) 連携によるまちづくり

各種団体のネットワークの構築によるまちづくり活動の展開として、各種イベントや行事を通して世代間交流や異業種のつながりができてきており、まちづくりの機運が高まってきています。若者に対する啓発と育成に力を入れ、また定住についても促進していくため平成25年から町内各事業所の若者を中心に実行委員会を作り「恋活」イベントを実施しました。イベントを通して地域活動への参加と世代間交流が図られました。さらなる広がりや交流を期待します。

## 2. 地域課題

仁摩ブロックまちづくり委員会では、平成25年2月にブロック内の全戸を対象としたまちづくりアンケートを実施した結果、良いところは「住んでいる町に愛着を感じている」「豊かな自然環境、安心安全な住環境、近所付き合い」が主な回答でした。

不安なところは「医療、介護、買い物」についてが多く、今後のまちづくりに取り組むべき課題となっています。

まちづくり活動に協力できるものとして「環境美化活動、自治会活動、あいさつ・見守り活動」が多くの回答でした。

今後のまちづくりのために活用したらよいと思うものには、「サンドミュージアム、琴ヶ

浜、健康公園、祭り、盆踊り等」が上位の回答でした。

これまでの取組みとアンケートの結果から、「地域資源を大切にするまちづくり」「協力によるまちづくり」を基本方針に、高齢化率の上昇、空き家対策、鳥獣被害対策など課題を解消するため、今後この地域に住む住民の知恵と力で将来に引き継いでいく取組みが必要です。

住民がまちづくり活動に協力できる事業や参加しやすい事業を実施し、活用できる資源を利用して、まちの活性化を図る必要があります。

## 第4章. まちづくりの基本方針と具体的推進策

### まちづくりによる活性化策

仁摩ブロックでは、「自然と伝統文化を守り ひととものが輝く豊かなまちづくり」をまちづくりのテーマとして掲げ、次の2つを基本方針として地域課題の解決に向けて取組みを進めます。

#### 1 基本方針

##### (1) 地域資源を大切にするまちづくり

豊かな自然環境をはじめ、地域に引き継がれてきた文化と伝統・産業・そこに暮らす住民等の「地域資源」を守り育てる取組みを実施します。

##### (2) 協力によるまちづくり

集落や各種団体の協力により、相互扶助の精神で様々な取組みを実施します。

#### 2 具体的推進策

##### (1) 地域資源を大切にするまちづくり

###### ①自然環境の保全

地域の豊かな自然環境の保全と美化活動に取り組みます。

###### ②伝統文化の継承

文化遺産や伝統文化活動を次代に継承するまちづくりを行います。

##### (2) 協力によるまちづくり

###### ①人づくり

まちづくりの意識啓発とリーダー育成に取り組みます。

国際交流を通し文化の違いを理解し、協調・協力性を養います。

###### ②ものづくり

地元特産品の開発・販売に地域と共に取り組みます。

### ③連携によるまちづくり

各種団体のネットワークの構築によるまちづくり活動の展開。

若者に対する啓発と育成に力を入れ、定住についても促進していきます。

第5章. 第4期まちづくり事業計画

基本方針	具体的推進策	事業名	事業概要	計画期間		
				H27	H28	H29
(1) 地域資源を大切に するまちづくり	①自然環境の保全	清掃活動	ブロック共通の課題とし、ブロック全員で守っていく仕組み作りをし、清掃活動の継続と町内美化を推進する。	○	○	○
	②伝統文化の継承	仁摩地域にある世界遺産の一つ「鞆ヶ浦」の活性化イベント	石見銀山登録 10 周年に併せ、「鞆ヶ浦」の魅力を地域内外へ発信するとともに、地域住民のまちづくり活動に対する意識向上を図る。	—	○	○
		「仁摩の郷ガイドマップ」を利用したまちあるき	魅力ある歴史・文化資源の存在や価値を再認識することを目的にガイドマップを利用し、現地探索し、愛郷心を育む。	○	○	○
(2) 協力による まちづくり	①人づくり	国際交流 inNIMA	町内在住の外国人と町民のふれあいの場を作り、お互いの文化・生活の違いを理解し、住みやすい仁摩町を作る。	○	○	○
	②ものづくり	特産品づくり	邇摩高校との連携により、仁摩町の特産品を開発する。	○	○	○
		仁摩地域活性化キャラクター活用	地域活性化キャラクターを活用し、仁摩町をPR	○	○	—
	③連携によるまちづくり	若者定住促進「恋活」事業	出会いの場を提供し、仁摩地域への定住を促す。町内各事業所の若者を中心に、実行委員会を作り、地域活性化活動への参加と世代間交流を図る。	○	○	—